京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金十六錢 ▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川京町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町十番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（二）

在瑞典ストックホルム　三浦彌五郎

▲スカンヂナビヤ三國の國際關係に就ては多く云ふべきもの少なく、又多言を要する程重要なる關係存在せず、最近の出來事は千九百五年諾威が瑞典より分離したる一事件なるべく、右分離の爲め瑞、諾兩國間に當時數種の條約を締結したるも詳述すべき程重要なる文書にあらず [illegible] クリスチャニア條約に依り英、獨、露、佛の四ケ國に於て之を保證することとなれり [illegible] 止みとなりたり。スカンヂナビヤ三國は其の人種言語を同ふし [illegible] 打つて一團となし以て國防上の一新紀元を [illegible] 强國の列に加はるの望なきにしもあらず [illegible] 現に六年前に諾威は瑞典より分離したる樣の結末に三國古來の歷史に鑑みるに大英傑の現はれざる限りは聯合の事行はるべしとも思はれず

然るに三國が依然今日の如く鼎立するに於ては瑞典の五百五十萬人、諾威の二百二十四萬人、丁抹の二百六十萬人が [illegible] 交通機關の開けたる今日に於ては周圍の大敵は忽 [illegible] 往昔ギュスタバスアドルフ又は查斯十二世時代に揮ひたる雄威を再び四方に發揮すること [illegible] 許せざるを得ず、之 [illegible] 人口の多大なる增加 [illegible] するに足るものある [illegible] 人を訓練して比較的 [illegible] 卒に仕上ぐるの道を [illegible] し急務の一たるべしと思料す

●改革と人材（下）

森　松南　投

[illegible] 主義如何を視るに、停年進級とは超ゆして、彼の特別任用 [illegible] 多くの制限の下に殆 [illegible] あり、吾人も又普通 [illegible] 觀的方法の便利にし [illegible] 誘むるに躊躇せず、社會生活の現象を判せる外果して人材拔 [illegible] 吾人は今之を多く論 [illegible] 校出身の青年輩等が [illegible] 實務の多岐多能なる [illegible] て早々局課の要位に [illegible] 然たるを見、克く其 [illegible] 吏の優遇あるを知ら [illegible] ぐるものあらんなり [illegible] 施設を要する朝鮮に [illegible] 著しきは、吾人決し [illegible] 解するを得ざるなり [illegible] に至りては、さらで [illegible] くが如き渠等が自發 [illegible] にして決して策の得 [illegible] るなり、宜なり、其 [illegible] や忽ち觀念の眼を閉 [illegible] り持久の策を執り、努 [illegible] 一身の計に焦慮する。[illegible] 展と智識的進化の念 [illegible] り全然除却せらる、[illegible] 國政務の消長は立法 [illegible] 行政の運用を發達せ [illegible] して行政の發達は先づ其根底に於て下級屬吏の現狀を改進するより急なるはなく、其之を成すの道獨り人材登庸の大義を肅正して違ふ所なく、常に其考科を案察し以て有爲の才幹をして徒らに髀肉痩凉の感なからしむるにあり、是れ適材を適所に得る所以なればなり、かくして絶不斷の刺激を與へて學術技藝の向上進化を圖り以て志氣を恢弘し、以て人心の萎靡倦怠を防がば何ぞ又國政の稜夷を憂ふることあらんや、之れ實に上長有志の唯一の責務にして古來國家興亡の由て岐るゝ所なり『君小人に近かば即ち忠賢を侵害す』而も近きに親み已に忠なるものを愛するは人情の通患なり、言や易くして行や難し、林淺ふして鳥を驚かし、水淵くして魚を棲ましめず、嗚呼誰か又此大義を明徹し、克く己を殺して天下國家に殉ふるものぞ、頃者世に任用令改正の議あるに當り、敢て愚衷を識者に諮る。

外事一束

▲露國● 快遊船暴風雨の爲黑海に沈沒し乘船のルーマニア駐在露領事亦溺死す
▲蒙古● 諸王清國人匪徒の掠奪に堪へず露西亞政府に對つて援助を乞ふと云ふ
▲皇帝● 及皇后陛下這回の印度訪問は各種の點に於て完全なる成功を收むと
▲波斯● 若し今日の形勢を改善せずんば英先づ波斯灣港を占領すべしと傳ふ
▲英國● 植民地ニューファウンドランド亦日英條約に加入すべきことに決定す
▲佛國● 內閣摩洛哥問題に關する措置宜しきを得ずとて國民の反對少からず
▲外相● セーヴ氏辭し海相デルカッセ氏其の後を繼ぐこと、なりしも內閣の
▲基礎● 薄弱にして海相の後任者なく上下兩院亦內閣に離れ終に其瓦解を成

梁川庄八（やながはしやうはち）

第七十八回　小金井蘆洲　演

太『夫れは駄目です私が訴へた處が行かない、私の方にお間合がない位な所へ訴へて出れば、故障願と云ふことにされる、故障願と云ふのは押なべての法度であるから、有無を云はせず暗い處に打込まれ、何れ非道の裁判を爲やうと云ふのだから、もう明けて見たより確固だ、私が何の理由もなく故障願の罪に落されなければならぬやうになる、左すれば私の爲めに利益のない許りでなく、膏藥屋の爲めにも何の利益はない、一擧兩損と云ふのは此事で詰らないから、斯うなさい何事も太田屋が心得て居りますからお呼出しの上お尋ねを願ひとうございます、とお訴へなさい甲府の街には幾らも公事師と云者が澤山ありますから、其者に賴んで訴狀を書いてお貰ひなさいまし』勇『ハイ……』太『何でも角でも太田屋が辨へて居りますから、吉左エ門を御呼出しの上御調べを願ひたいと、斯う引合を付けて下さい、然うすれば假令幾許金が掛らうとも、私の處にお泊り下すつたお客樣、殊に大事な御得意の旦那樣をお救ひ下すつた恩人ですから、金には厭ひません、是れは稼業の冥利當然な話です、お前さんから其入用を貰ふなんてね夫んな不都合な太田屋吉左エ門ではございませぬ、私が御番處に出て立派に言開きを付けますから然うなさいまし』勇『夫では然う云事に願ひませう』と云て勇吉は暇を告げて立皈り、直樣甲府柳町の宿屋に參りまして、今日で云ふ辯護士其當時の公事師に其話をして、何うか願書を認めて貰ひたいと云ふ、極公事訴訟に馴れて明るい人が、寸毫も申分のない願書を認めて呉れました『是ならば屹度お調べになるに違ひありません、若し又是れが御採用にならなければ、モウ仕方がありませんから叶はぬ事とお諦めなさいまし、マア大槪はお調べになるだらうと思ひます』と云者ですから、勇吉は大層悅んで町奉行役所へ恐れながらお願ひでございます、と此訴狀を差出しますと、吟味方與力が一應此願書を見て、即刻勇吉を小白洲へ呼出して與『コレ勇吉其方が斯樣な訴狀を差出すと、又彼の剛情我慢の膏藥屋が、反つて剛情を申張り事實を白狀致さんわ、其方は愚な奴ぢやな、前後の勘辨もなく再々助命願を致すのみならず、性懲もなく證據めかしき事杯を申立るとは呆れ果たる痴者……、其方の父を殺した仇敵ではないか』勇『イエ御言葉では御座りますが、彼の膏藥屋さんに限つて人を殺すやうな方ではございません、親を殺した者は他にあるに相違ありません、何うぞ他を御詮議を願ふとう存じます』與『默れ……他に下手人があると云が何者が殺せしか夫を申立よ』勇『それは此者さは存じませんが……彼の才助と云人は人の難義を見兼て金を出して救ける位な方が阿父さんを殺す氣支はござりません』與『控へなさい上には見込み處があつての事ぢや、夫を兎や角申すと其方も共々入牢申付るぞ、恐入つて退れ……以來斯樣な書面を差出す事は一切相成らんぞ、と書面を投返された勇『ウヘー……』と勇吉は驚いて失望落膽をして、其書面を懷つて旅宿へ立戾りましたが早速公事師の所へ參りまして勇『種々御心配を願ひ認めて頂きましたが願書は御採用になりません……』事『夫は亦何う云ふ次第で』勇『實はこれ〳〵斯樣と、委細の話を致しました所が、公事師も惘れ返つて事『成程何うも夫れは無理非道な御裁判ですな……、不思議……、今まで永い間此商賣をして居ますが此度のやうな事は稀らしい、誠に情けない事で、此位氣を付て認めた書面なら屹度御採用にならなければならないのですが、夫が却下になるやうでは是は勇吉さん放心者ですな……餘程お上の見込のある惡い人と見へます』と云はれて勇吉も仕樣がなくばかり、暇を告げて旅舍の勘定を濟ませ、若王子へ立歸りましたが、何う考へても氣が濟まぬから、親類や村方の者を集めて協議を凝らしました、先づ一同揃ひました時に勇吉が勇『皆さん今日はお忙しい所を御集まりを願ひまして御苦勞樣でございますが兼て皆さんが御心配下さいましたる、奥州仙臺の膏藥屋の一件でございますが、私の阿父さんを殺した者は他にあるに違ひありません、假令私は此身代を棒に振りましても金づくで濟む事なら如何樣にもして、才助の寃を雪がなければ義理が濟みませんが、私には手段も術も盡きましたが何とか旨い工夫はありま[illegible]すまいか、皆樣の御智惠を御借り申たく存じますが』と申出ました



東京電報

▲獨逸の總選擧結果 獨逸に於ける代議士總選擧は社會黨大多數を占め同黨の勝利を歸したり

▲伊土兩國海戰 伊太利國軍艦はフレプタ沖に於て土耳古砲艦數隻を撃沈せり

▲秦皇島結氷す 笠置艦長發電によれば秦皇島に於ける同艦碇泊地を距る岸邊七哩餘は結氷し陸上との交通杜絶せりと

大阪特電

▲大阪の大火(今朝號外再錄) 十六日午前一時大坂市南區難波新地遊廓より出火折柄の烈風に煽られ遊廓全部を燒拂ひ火勢益々猛烈を極め千日前より河原町一丁目二丁目坂町日本橋通三丁目高津九番町等に延燒し午前六時迄に約二千餘戶を烏有に歸し今や高津新堀附近を燒きつゝあり鎭火見込なく死傷多數慘狀實に言語に絶す(十六日午前八時着電)

▲大火災の後報 十六日午前一時大阪市南區難波新地の遊廓内の湯屋百荷湯方より失火し烈風に煽られ見る見る中に三、四、五番町を舐め盡し最も繁華の千日前を襲ひ各遊藝寄席活動寫眞館等を悉皆烏有に歸し高津方面へ飛火し午前八時半に至るも尚熾々燃へつゝあり砲兵工廠よりは消防隊第四師團よりは步工兵出動鎭火に盡力中なり七時半迄に燒失せるは四千五百戶にして死傷百餘名の見込なり尚娼妓及嫖客十數名は避難の際樓上より墜落し死せりと傳へらる(午前九時發電)

▲罹災民の收容 大坂市役所にては罹災民を附近の會社及び學校に收容し炊出しを開始したり寒中の事とて混雜名狀すべからず(午前九時發電)

北京特電

▲伊犁諸城獨立 伊犁天山北道及同南道に在る諸城は獨立を宣言したり

▲伊犁將軍殺さる 伊犁將軍麾下の兵六萬將軍に叛し將軍及び參贊は殺戮せられ官吏は身を以て免かれ他に避難なしつゝあり

▲撤兵要求と通告 袁世凱は革命軍よりの要求に對し漢陽の守備兵は諸軍隊同樣既に撤兵せり浙江省は純然たる商業地なれば巡警隊の組織を見る迄商業保護のため撤兵せずと伍廷芳に宛通告せり

▲北滿馬賊猖獗 齊々哈爾より報によれば拜泉縣地方にては馬賊の勢益々猖獗を極め奉天巡防隊長以下數十名は右馬賊討伐中重傷を負へりと

上海特電

▲廣東兵の北上 南京殘留の廣東兵は兩三日中遡航し湖北の援兵に赴く等にて河南先發の新軍の將黎天祭の部下に屬する由因に黎は目下陽邏に在りと

▲土匪廣東に跋扈 廣東發着電によれば貴州城は先きに獨立を宣言して以來楊總督の施政頗る良好なりしを以て秩序全く回復し民心平穩に歸したりしが最近に至り土人土匪多數の飢民を通じて省城を攻撃せんとし安平安須淸鎭の各地は其手に占領せられ勢猖獗なりといふ

雜報

●辯護士規則改正 現行朝鮮總督府辯護士規則に依れば特別任用令に依り任用せられたる司法官は辯護士たるの資格を有せざるが其筋にては或る必要上より是等特別任用の司法官にも辯護士たるの資格を與ふる事に內定したり尚從來の訴訟代理人にも同時に同資格を與ふるや否につきては攻究中なりと云ふ因に改正規則は四月一日より實施せらるべし

●內地種蠶繭成績 農商工部調査に係る昨四十四年春蠶內地種繭全道を通じたる平均賣却價格を聞くに上等四十二圓、下等十四圓十七錢にして平均三十圓十九錢なるが之れを內地に於ける平均額に比較せば四割方低廉なりと云ふ今全道に於ける賣却高左の如し

京畿	一、一五五圓	忠北	一、一九四圓
全北	一三〇	全南	三、六三五
慶北	五、九五四	慶南	一、四二九
黃海	五一	江原	八九四
平南	四、六〇〇	咸南	一、一二〇

平北及咸北なし總賣却代金二萬一千二百二十六圓なりと

●京義線營業哩程改正 鐵道局にては過般來各線旅客賃銀の改正に伴ひ京義線安東縣新義州の兩驛を除き營業哩程を改正すべく調査中なりしが此の程完成したるを以て十七日總督府告示を以て右改正哩程發表さるべし因に右改正哩程は四月一日より實施す可し

●內務部長會議 司法部樓上に於ける內務部長會議は十六日も午前十時より前日に引續き寺內總督山縣政務總監以下各部局 官各局課長列席開會內務部所管の各種諮問事項の答申あり午後一時散會したり

●長官會議の休會 十六日は總督府定例長官會議日なるも重要事項なきを以て臨時休會したり

●總督內務部長招待 寺內總督には目下滯京中の各道內務部長を來る十九日頃官邸に招待し晩餐の饗應ある筈なり

●上田司令官の巡視 豫報の如く上田軍司令官には十六日午前九時三十分より柴參謀長二宮法官部長竹本副官を隨へ衛戍監獄及軍樂隊を巡視せり

●專賣事業費增加 專賣局の事業は目今紅參の製造及天日製鹽の二種なるが明年度に於て十五萬四千五百圓の事業費の增加を計上したるが右は人參賠償價格の增加と製鹽費の增加に外ならずして別に新なる計畫なしとの事なり

豫告

今や移輸入超過の趨勢は滔々として其止まるところを知らず、斯くの如くんば我半島は比年ならずして、正貨地を拂ひ、經濟的疲弊に逢着せん。本紙茲に見るところあり、産業開發の一手段として半島鑛業の振興に資するの目的を以て右に關する懸賞論案を募集せんとす、其詳細は次號に發表すべし

京城新報社

●第一銀行成績 第一銀行にては十一日午後重役會議を開き左記配當案を決定したるが來る廿五日午後二時東京銀行集會所に株主總會を召集して附議すべしと

當期純益金	九〇三、一二六、一四圓
前期繰越金	六一八、八四二、二二
合計	一、五二一、九六八、三六
內	
賞與及恩給基金	四五、一五〇、〇〇
積立金	三五〇、〇〇〇、〇〇
株主配當(年一割)	五〇〇、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	六二六、八一八、三六

●商議總會議事 既報京城日本人商業會議所にては十六日午後一時より總會を開き豫て役員會に於て議決したる米穀移入稅撤廢問題外一二件に就き協議決定し終つて同三時商工調査會に移り下の問題につき協議し中には委員よりの報告あり五時閉會夫れより一同換祭樓に於て新年宴會を催したりと

一、日鮮人間取引改善方法講究の件 一、輸移入貨物關稅改定價格調査の件 一、民業に對する官營事業の影響調査の件 一、朝鮮鐵道歐亞聯絡後當京城に及ぼせる影響調査の件 一、淸國動亂の京城に及ぼせる影響調査の件

●第一艦隊消息 十七日仁川入港の筈なる第一艦隊出羽司令官の率ゆる旗艦安藝、三笠、香取、敷島の四艦は途中風波の爲め右豫定を變更し十八日入港の豫定なる旨其の筋に通報ありたり因に二十二日仁川發旅順方面に向ふ豫定なりしも以上の如くなるを以て一般日程に變更を來すに至るべしと

▲第一艦隊と各艦長 十八日仁川に入港すべき第一艦隊各艦長を聞くに香取艦長小栗大佐、安藝艦長松村大佐、三笠艦長大澤大佐、敷島艦長鈴木大佐等なり

●咸南の產業一班 ……金谷咸鏡南道內務部長……

咸鏡南道は由來農業地たること世間の知るが如く產業としては普通農作物を始めとして畜產即ち生牛の產出多く又た養蠶、林業、水產等可ならざるなく各相當の成績を擧げてをるが農事上に於ては南鮮地方と異り未だ內地資本家等の之れが經營を試むる者皆無の狀態なるが故に只從來鮮人側に於て行ひつゝあるものに向つて指導督勵を與ふるの外策なき有樣である林業に在つては本道の面積に對し林野面積實に大部分を占むるの割合であるから林業に對しては大に力を盡すの要あるを認むれども彼の土地調査事業が彼れの如く莫大なる費用と多數の人員と大規模の調査法を以てして尙ほ數年の時日を其の完成に要するに見ても本道が微力を以して今日直に此等の林野に植樹等を企つるの余地なきを如何にせむ只將來に於て飽くまでも林業の發達に努力する方針である養蠶は管內永興及び永興郡が其の中心地で永興紬を以て名高く其他多少之れを試みざるなく道に於ては永興、咸興、北靑に各養蠶習場を設け其他道には稚蠶共同飼育場を置き專ら蠶業を奬勵しつゝあるが其の成績佳良にして將來大に見るべきものあるを思ふ又た畜產は本道一ヶ年の生牛數約八萬に上り此等は多く元山若しくは城津港を經て露領浦鹽斯德に輸出され牛皮は其の殆ど全部を內地に移出するものにして生牛の如き實に本道主要の產物たるを失はず將來益其の改良繁殖を期する必要あるより恩賜金の事業としても鮮人等に生牛を與托し以て其の牝を與ふると云ふ方法を講じ道にても亦同一方針を以て畜牛の改良に力を致しつゝあり水產は本道中二三郡の沿海に於て明太魚を產し一ヶ年の產額一百萬圓に上るも其他の漁業に對しては未着手に屬し而も他稱屬の魚類に就ても豐富なる見込あるを以て將來漁業に就いては其の他の魚屬に關する調査所の如きものを設け大に明太魚以外の漁獲をも試しむるの要あり即ち漁具漁法の改良漁網製作法等を敎習せしむると共に現に改良船を造り講習者をして實地に就き練習をなさしめつゝあり而して本道に於ては斯の如く大に各種產業の改良發達を期するに當つては恩賜金のあるを以て地方費同產業補助費と相俟つて專心之れに鋭意しつゝあるも而も常に之れが財源の乏しきを感ずるは遺憾の極なり即ち本道の財源たる地方費としては屠場稅地稅附加稅市場稅の三種に過ぎざるを以て其の金額は僅に二萬五六千圓內外に過ぎず斯の如き零碎の財源を以てしては本道の如き地方公共事業を經營するに當り土木費以外に於ては比較的多くの財源を產業奬勵の用途に充つるも尙ほ常に不足を感ぜざるを得ざるは理の當に然らしむる處であるので私の考としては地方費の利限を緩にし各其の地方に適切なる稅目を設くるを得しめ假令ば本道に就いて言へば其の主產物たる明太魚に對して課稅するを得せしむるとせば之れに依り少くも二萬余圓の財源は裕に增加するを得べく又た單に明太魚のみならず現在の地稅附加稅の如きも其の稅率を增すに於ては是れ亦多少の財源を增加し得べきを信ずる之れを何れの點より觀るも產業開發は朝鮮現下の急務なり而して今日內地に於ては如何なる小縣と雖も尙且つ六七十萬圓の財源を有するに拘らず常に其の產業奬勵上財源の不足を嘆じつゝあり然るに今日の朝鮮に於て內地の縣に恰當すべき道に於て僅に其の十一二に足らざる二三萬圓の財源を以て產業の開發に從はんとす其の如何に卓越せる計畫も到底之を完全に遂行し得ざるは明かであるので此等の點より して切に地方費の制限解除を希望せざるを得ない

各銀行會社營業成績(其十)

明治四十四年下半期

△內國通運京城支店▽

……菅谷京城支店長の談……

內國通運株式會社京城支店に於ける四十四年下半期の營業成績は同年前半期を通じて同年內に於ける京城物貨の集散が一般經濟界の趨勢と其の步調を一にし發着貨物の狀況概して平均を保つに至れり即ち四十三年度に於ては地方官廳の事業材料は中央たる京城より配給せらるゝものなるを以て一時に多數の物貨の發送することありしも四十四年度に於ては併合と共に斯の如き現象は其の跡を絶つに至り官廳貨物の發着數は著しく減少を來したるも一方各種商品は在京城の商人が漸次陶汰され實力ある堅實の商人等のみが殘在して相當計劃を以て商品の移入を試むるに至り且つ其の移入割合も四十三年前後に於ては每年極月間近に至り年末年始用の必要品の不足額を移入し其の爲め輸送上の繁忙を加へしものが四十三年度よりは八九月の候既に年末年始の見越し移入を爲すに至りたれば各月を通じて發着荷物常に平均を保ち又た其の發着總額に於ても前年度官廳用品の輸送盛なりし時代に比し決して劣ることなきのみならず其の數字上の統計に至りては今尙ほ調査中に屬するものありて之れを公示するを得ざれども大体に於て發着貨物共に約三割の增加を示し好成績を現しつゝあり云々

●東拓の水利事業 東拓にては從來會社所有地の內水利なく又は荒廢せるを修築又は新設せるが昨年中之に要したる費用は約六千五百四十六圓なりと尙目下調査中のもの二十三ヶ所なるが內水原北湖は解氷期を俟つて起工する事に決し目下道廳に認可申請中也

●地方各地と電信電話 慶北慶州、慶南平全羅南道榮山浦全北羅州の四個所は未だ電信電話業務の開始を見ざりしが目下之れが工事中に付追々開設の運に至るべしといふ

●貴族會館開館式 朝鮮貴族會館開館式は二十二日午後一時より黃金町の同會館に於て擧行す

●養豚業の有望 鮮人は從來より養豚を行ひつゝあるが其飼料及び管理等殆んど犬に等しき放任主義にて生後一二ヶ月にして市場に於て賣買され五六ヶ月にして屠殺食用に供し居れり元來養畜に趣味を有する鮮人なれば此際ヨークシャー、バークシャー等の優良なる種の仔豚配付等を行へば有望なるべし然して豚一頭一ヶ年よく肥賦し二十圓の價格に達すべく飼料等一日二錢餘年十圓あれば猶十圓の利益を得べし其飼料は殘飯其他極めて廉食にて足り農家の廢物利用として遺利を收むるを得べく副業として專業として等閑視すべからざる事業なりと牧畜熱心家は語れり

●咸南の物價騰貴 咸鏡南道永興地方に於ては淸國より輸入する金巾類は同國動亂の爲め從來延取引なりしもの全然現金取引となりたるため一割乃至二割方騰貴し內地よりの移入品も滊船の廻航減少したる爲め此亦一割方騰貴したりと云ふ

●南鮮諸島の近況(一) 木浦警備所の警備船が南鮮諸島を巡邏し歸りたる報告要領左の如し

△巨文島の狀況 巨文島築港場は內地人居留地たる本島三島中の古島に所在し築港は港口二十五間奥行四十五間にして內地人家屋三十二戶人口男五十人女四十八人居住し尙本島其他全島民は年々築港を廣め魚市場をも新設し更に進んで水產學校の建設をも目論見つゝありと尙巨文島にては每年四月より六七月迄は大刀魚の漁期六月より十一月迄は鰯の漁期七月より九月迄は沖鯖の漁期九月より十二月迄は鯛の漁期にして一ヶ年間の漁獲高通計十四五萬圓に上ると云ふ

●道財務部長招集說 內務部長會議終了後期日は未定なるも財務部長會議を召集すべしとの說あり

●鎭海要塞司令官の訪問 新任鎭海灣要塞司令官山中少佐は十六日總督府に寺內伯を訪ひ新任の挨拶を述べたり

●來年度採掘の鐵鑛 本年度に於ける枝光製鐵所平壤出張所の鐵石採掘量は十三萬噸なるが來年度は十七八萬噸を採掘の豫定なりと

●萬國赤十字總會出張委員囑托 本年五月米國華盛頓に於て開かるべき第九回萬國赤十字總會に出張すべき日本赤十字社の委員は副社長小澤男爵朝鮮總督府參事官秋山法學博士小笠原伯爵夫人及長崎宮中顧問官夫人に決定囑托せられたり

●石原府書記の昇任 京城府書記石原留吉氏は今回府事務官(高等官六等)に昇任したり

●兩班連の新年宴會 當地兩班の重なる者約三十名は十六日午後三時より明月館に於て新年宴會を開く

●畜產會社の株主總會 韓國畜產株式會社にては廿五日午後二時より事務所內に於て株主總會を開くと

●漢城倉庫の株主總會 漢城共同倉庫株式會社にては來る廿五日午後一時より會社內に於て株主總會を開催すべし

●民團小學元町分校開校 龍山元町三丁目に建築せし民團立小學校元町分校は總建坪九百三十七坪工費四萬八千圓を以て工事進行中昨年十一月暴風の爲め第二教場百十坪倒壞したるも其後殆んど晝夜兼行にて工事を急ぎ舊臘三十日落成本月十一日請負者より民團に引渡を了へ十五日より開校したるが來る二十日盛なる開校式を擧行すべしと

●商議調査會聯合新年宴 商業會議所議員並に商工調査會員聯合新年宴會は既記の如く十六日午後六時より掬翠樓に於て新年宴を開催す

●李子の醫院訪問 李容植子は十六日午後一時總督府醫院を訪問せり

●後藤連平氏の歸仁 仁川京町一丁目米法學士後藤連平氏は曾て上京中の處十五日歸仁從前通り法律事務に從事す

公人私人

▲中村留二(農商務技師)天眞樓 ▲兵藤虎之助(漢銀水原支配人)水原行 ▲橋本逐(朝鮮建築技師)天眞樓

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
一月十六日	二三七、〇九七、六七〇	五八

▲治外法權▼ 大坂に亦々大火があり、難波新地から千日前、日本橋通から、彼のたかきやにのぼりて見ればの御製で有名な、高津神社一帶を燒盡したのは、本紙が號外で報道した通りだ▲昔は火事を江戸の花と云つた、ソシテ其火早い事が、江戸ッ子を氣早にした、今や火事は大阪の專賣となつた、サレば大阪人も早晩氣早になろう▲コールブラン對李王家の訴訟が無期延期になつたソウだが、開けば原被のドチッからか、和解を申出てたためだソウだ▲亦た聞く原告が假差押をした、在橫濱インタアナショナル銀行コールブランの預金は、僅か一萬と六百圓で、右假差押執行の爲に原告の提供した保證金は五萬圓だソウだ、其上原告は訴訟代理人に向つて已に七千圓許りを訴訟費用として拂つて居るソウだが、コンナ割の惡るい訴訟は滅多に無いとは、法曹社會での噂だ▲元當地の理事官であつた三浦が、現駐在地瑞典ストックホルムから、スカンヂナビヤ一年間の見聞記を送つて來た、三浦は半島を故鄕とし、現に家族と邸宅とを馬山に有す、彼れや歐洲に有るも決して半島を忘るゝものに非ず▲彼れのスカンヂナビヤ見聞記は、在半島我官民にとつて慥かに參考の價値あり記者は讀者諸君と共に一讀を怠らざらんと欲す▲朝鮮商業と共同倉庫とが合併する、京城水產市場と日の丸組とが合併する、合併や事業經營の節減及び賃金の爲大に便なり、只夫れ取引者の利害に到つては今後に徵して知らんか▲我半島に於ける、現在の郵便貯金高は、三百九十三萬餘圓だソウだ、ソコで過般總督府は大藏省と協定して、該貯金を內地へ持ち出さない事にしたソウだから、右は今後半島の資本となつて働くであらう▲電燈の薄利多賣で味をシメた、日韓瓦斯電氣は、近い中に瓦斯の料金をも下げるソウだ、序に言ふ、先夜の總督邸實業家招待會で、寺內總督が閑な事務を捉らへ、此頃は君の勉强で大分電燈が明るくなつたよと、ほめられたとは眞乎。

●鴨綠江の橋と氷　天異生

（十）家內掛りも昨日の夫にして給仕、案內掛り共に昨日の人なり、流石に馴れて親しみあり、僕の爲めに旅行案內を貸與し、給仕君は醉後の水を呼ぶに周旋す、慾を云へば限も無きこと乍ら給仕君の周旋は兎も角水の微溫うして下戸の知らずと云ふ味なかりしぞ恨みなれ、人の情は熱きこそ好け

醉醒の水は冷くこそあれと〔illegible〕べし呵々、乘車の動搖著しからず、寢車は蕭川、順安〔illegible〕る道を馬や牛〔illegible〕たり、道と云〔illegible〕が當れる道を〔illegible〕は直ちに道を〔illegible〕も其處なり、〔illegible〕於て道らしき〔illegible〕は泥濘、風寒〔illegible〕爲牛の勢力を〔illegible〕些少ならざる〔illegible〕

●道路改修の急は勤儉蓄財の奬勵よりも急なり

〔illegible〕び出せし事あ〔illegible〕死て電晉す、

●一人ボッチ

〔illegible〕淋しげなる〔illegible〕と聲を掛け〔illegible〕と笑んで頭〔illegible〕すね、龍山の〔illegible〕でしよう』と〔illegible〕りを成さる〔illegible〕嬢さんだけ〔illegible〕ね』と云ひし〔illegible〕『此叔父樣〔illegible〕が皆的中さ

●龍山の叔父樣れ迎ひに水色

〔illegible〕ら第二に其叔〔illegible〕蜜哄笑、僕〔illegible〕れで淋しかつ〔illegible〕と云る』嬢さ〔illegible〕果して滊車〔illegible〕コートに山〔illegible〕として乘車し〔illegible〕モウ大丈夫』〔illegible〕じて曰く『ア〔illegible〕に滊車は龍山

●贈與を受けたる若夫婦の蜜柑の

方に對し其姓名を問ひ付く、山口縣下關市外濱町三番地山口組本店の定村匡祥と云ふものですと、龍山驛に着す、家人二名僕を出迎ふ彼の電報に依りてなり『カマモッテコイとの事なりしも釜の必要ありとも思はねばハヽマを持つて來た』とて電報を示す確かにカマとあり僕の肩越しに覗いて居た給仕君『私は確かにカマと書きました』と大聲揚げて樂屋を訐く、定村君夫妻大竹君等クス〳〵と笑ふ家人は『ア、左樣か、とも思つて夫も持つて來ました』夫から昨夜（一日夜）十二時十五分過安產で女の兒です』と夫も芽出度し滊車は南大門驛に着す、即ち定村君夫妻大竹君等に別れて鴨綠江の橋と氷見物の行程を終ふ（畢）

●隈本校長の辯明

▽記者の質問に對する

總督府中學校生徒の諭示退校問題は這回を以て嚆矢とするのみならず學年試驗を眼前に控ね且つ一時に七名を出だしたるより父兄間に大恐慌を惹起したると同時に生徒間にも流言蜚語盛んにして或は某學生監の專橫を憤慨し校長の冷酷なる態度を罵倒するあり殊に某學生監が該問題の紙上に掲載せられたる後の狼狽せる態度に對しては職員間に於てさへ誰一人同情する者なく齊しく嘲笑の眼を向けつヽあり、記者は同校が去る十一日に催ふせる二日目の父兄會に於て某高等官の隈本校長に對してなせる質問の回答を聽かんと十五日午後三時隈本校長を訪ふ曰く『靴に關しては黑皮製の編上げ若しくは短靴其の孰れを撰ぶも差閊ね無きことは校則の示す如しされば編上げ若しくは深護謨にせよと命じたるには非らず多分体操教師より短靴にては砂塵の入り込むことあるより可成的編上げ又は深護謨を可とすと注意したるに過ぎざるべし更に諭示退校生徒の問題に關しては何等の質問なく三日間中當日は最も善く相互に胸襟を開いて懇談するを得たるを喜びつヽあり云々』記者は更に該諭示退校者の入學當時の狀況を尋ねたり（以下對話）校長『撰拔試驗に合格して入校したる者なり』記『入學試驗の成績を見るを得べきや』校長『教師が之れにより入學者の資格を認定するものにて公表すべきものに非らず當局の許可を得ば御覽に入るべし』記『彼等は一年級時代より成績劣等にして品行不良なりしか』校長『成績は不良にして現級に二回留まりし者さへあり品行も善き方には非らざりし』記『彼等は精神若しくは肉体上の不具者なりしか』校長『然からず』記『然らば教師諸君が熱心に啓發誘導せば諭示退校處分を受くるが如きこと無かりしならん』校長『現級に二回留まる者は校則に依りて除名するを得るも試驗的に在校せしめて鋭意彼等を訓育し屢々父兄を呼び寄せて注意を促がし成績品行等も學期試驗毎に一々父兄に通告したるも遂に今回の處置を取らざるべからざるに至れり』記『生徒の監督は如何なる方法の下になしつヽありや』校長『校內に於ては教師が常に監督す校外に於ては刑事巡查の如く一人一人尾行する譯にも行かず』記『然からば生徒の素行に就て訓戒する場合は如何にして之れを知るか』校長『評判と學生監よりの報告に依る』記『然らば校內に於ては監督するも校外は責任なきや』校長『手が達かざるなり』記『這回の諭示退校問題は教師と父兄と生徒と三者孰れに責任は歸するや』校長『……』以上は隈本校長對記者談話の大要なるが隈本氏は之れに對して多く語るを好まざるもの丶如かりし（一記者）

●外妾の玉代請求

▽當世質屋氣質

昨年十月頃より京城券番菊家席より現はれたる自前藝妓に泰之助と云ふがあり此泰之助と云ふ藝名の曰く因緣は世間の手前浮世の義理に搦まれて泣の涙で別れた情夫の名を其儘にと云ふ譯だか何うだか詳しい所は當人ならでは判然致さぬことは元よりなり扨此妓生れは名古屋市中區伊勢山町にて本名を花井かねと云ひ本年トッて三十三才の姥櫻ながら里柄濃厚の厚化粧に額や眼尻の縮緬皺を塗り隱して居れば一寸見は二十五六と見ゆ樣と云ふ利益な生れにて藝は就中琴を賣物に相當流行らかして居ると話は代つて玆に同券花家席に昨年六月から出た靖子と云ふがある此妓は佐賀縣唐津町の生れにて本名が坂本いち當年取つて此は全くの二十五なるが以上の兩妓何うかして一座すると摑み合ん許りに睨み合ふとの事を耳にしたので如何なる理由かと探つて見しに實に斯うした次第こそあれ靖子は披露目間も無く旭町一丁目平手質店の主人公を擒にして前借金の二百圓も拂つて貰ひ花家席の隣りに質店を開業し平手君と同棲たが遊んで居ても詰らないと世間の奴の知らないのを幸に小使取りに藝妓稼業は繼續し居たるが一方泰之助も披露目後間もなく平手君と關係がつき面倒を見て貰う事に成つた初めの間は兩人とも夫れとは夢にも知らでありしに平手君の本妻は何の方が風の便りに斯くと聞き知り昨年末大波瀾があつた後泰之助は旭町一丁目の本宅に本妻と同棲し古物商と藝妓稼業を兼業する事となりしより兩人の間は自然面白からず成り行きたるなり然るに泰之助は本妻と同棲して居るを利用し靖子放逐の運動に掛りしが一方靖子は平手君の浮氣に愛想を盡かし末の見込なしと暇を呉れと談判を持ち込んだるに平手君折角落籍をし新に花家の隣に質店迄開いて同棲した靖子に今暇を取られては元利金滅茶々々になる次第なれば絶對に流質こと罷り成らず強いてとあれば總督府令に依り前借の二百圓に月五歩の利息を附し身ぐるみ脫いで出て行けとの事に靖子も先方が左樣なら此方にも藝妓規定の玉代金を請求することヽなり券番の某に依賴して精算請求に及びしを聞き知たる泰之助も平手君が餘りの質屋氣質に愛想を盡かし是も手切の談判中なりとは聞も物憂し

●龍山署のお手柄

▽二人強盜の就縛

龍山西江面栗島十三統十二戸梁元守方へ十四日午前二時頃強盜押入り現金二圓及び衣類雜品此價格金四十圓を强取して逃走したる事は昨紙既報の如くなるが其後龍山署に於て犯人嚴探中酒本刑事の周到なる偵察により十五日午前二時該犯人は果川郡下北里統戸不詳平民農黃子善（三七）通津郡通津面統戸不詳黃子順（三八）の二人なる事判明せり此者は兄弟にして共謀の上前記の犯罪を敢てせしものにして罪狀自白直ちに龍山署に拘引せられたり因に梁元守は十六日龍山署に呼び出され被害品を引渡され非常に警察の力を德として引取りたりとは左もある事なるべし

●勤續店員の表彰

▽日本人商業會議所にて

京城日本人商業會議所にては來る二十日京城各商店に於て滿五ケ年間以上勤續したる店員に對し表彰を行ふ由なるが其の店名及店員名は左の如し因に十五ケ年以上は一等十ケ年以上は二等七ケ年以上は三等五ケ年以上は四等にて一等は金製メタル二等は赤銅メタル三等は銀メタル四等は銀小形メタルなるが一等は一名もなしとのことなり

▲十ケ年以上勤續

（清水喜市店）藤澤啓太（山口呉服店）高味庭二（松浦龍治方）松浦勝太郎（進辰馬方）福岡一二郎（同人方）秋本岩次郎

▲七ケ年以上勤續

（梶原末太郎方店）中屋敷俊三（小林源六方）建部永吉（本町二丁目）內池光一（釘本藤次郎方）佐藤半次郎（山口呉服店）折田市藏（進辰馬方）大戸降治（尾能仙兵衛方）竹岡儀三郎（江澤次郎方）遠藤扶治吉（小林源六方）秦助市

▲五ケ年以上勤續

（釘本藤次郎方）阿津坂義太郎（平山政十方）黑川碇八（小林源六方）島田喜三郎（進辰馬方）井上宗次郎（松浦源治方）財間才一（進辰馬方）森田幸吉（木島時計店方）小泉忠生（同）五十嵐繁之（佐野彦藏方）佐野逆次郎（小林源六方）岸範（久保田虎介方）山口屋梅吉（平山政十方）森豊太郎（尾能伍兵衛方）池田房次郎（進辰馬方）田中善助（三好和三郎方）河本利之助（清韓洋行方）高瀨經三郎（小林源六方）伊藤久次郎（松浦源治方）松本與市（山口呉服店）北川定治郎（田代宗四郎方）新藤半平（小林源六方）山本萬兵衛（進辰馬方）松延卯作

●露人待合室に夜を徹す

▽懷中寒き夢を結ぶ

十五日午後九時着の急行にて西大門驛に下車せる露國人家族六人あり長崎より安東縣に至る二等乘車券を所持し居れるが言語不通の爲め一行を人力車に乘せて旅館に案內したるも安東縣に於て受取るべき爲替券の外現金は餘り所持し居らざるより再び停車場に引返して驛內に一夜を明かさせ呉れと手眞似を以て語れるところに西大門分署より警官出張驛員と相談の上待合室に寒き夢を結ばしめ十六日午前九時四十分發にて安東縣に向はしめたり

●仁川出火二件

仁川山手町一丁目米國紐育スタンダード石油會社支店にて十五日午後六時半ストーブの煙突より發火し屋根裏に燃移りアハヤ一大事に至らんとせるを常備防隊驅付け直ちに消止む損害金七百圓なり▲仁川內洞四統十戸高仲泰方にて同日午後八時五十分溫突より發火し常備消防隊驅付直ちに消止む

●船夫の船員荒し

原籍濟州島生れ當時仁川府內面朴信基方同居李日萬（三〇）同島生れ當時朴信基方同居高泰豪（三一）海州生れ當時仁川高松回漕店所有船第七號乘組員徐明路（三九）の三名は去四日夜港外碇泊瀛船より高杉回漕店の小蒸汽にて荷物運搬中船內の鷄三十五羽を取し尚徐明路は去月三十一日夜瀛吉丸船員の不在を窺ひ室內の蒲團毛布時計等を窃取したる處仁川署の巡查が探知し十五日取押へ取調べの上十六日孰れも檢事局送り

●龍山署移轉日變更

今回舊龍山元町三丁目新築廳舍へ移轉せる龍山警察署開廳式は十九日擧行の樣報道せしが右は都合により二十一日擧行の事になりたる由當日は餘興として擊劍煙火藝妓の手踊、素人芝居等の催ある由なれば定めて盛大なるべし

●一以て百に當る

京城府延禧面松里杭戸不詳當時延禧面加佐洞一契一統一戸李福山（二）は過日酩酊して城山里八統一戸李仁善方に至り些少の事より衝突して同人方の龍仁なる少年を毆打したる廉により龍山署に告訴せられ十六日同署に於て笞一百に處せられたり

●清人の賭場手入

南部會賢坊石井洞清國人王正德（三）西部小門內左官職人丁廷浩（三）同祭相心（三）同劉張（三）の三名は十三日午後九時頃賭博の現場を南部署に檢擧され各科料金五圓に即決

●突當り代八十錢

南部詩洞十九統六戸孟良植（三）は十五日午後五時頃北米倉町二十五番戸蔡島敬二（三）方の張出戸棚に突當り硝子障子六枚を破り損害金八十錢にて事濟み

●稅關小遣の溺死

原籍島根縣生當時仁川新町一丁目釜屋德藏（三）は去十一日午前七時半稅關小使に雇はれたるが十六日仁川稅關監視課前の繫橋附近にて海中に墜落溺死す

●二娼妓にれ炎

中の新地井筒樓娼妓一龍事後根ハツ（三）同友枝事白石きく（三）は外出するに際し虛僞の申告を爲し願出たる事發覺し各科料金一圓に即決さる

●京城券の新年會

京城券番藝妓一同は十七日午前十二時より旭町一丁目白水に於て新年宴會を兼ね懇親會を催す

●醉狂な三人男

龍山元町三丁目大工職管一（三）南米倉町和樂園內幸松利助（三）若草町居住高田善五郎の三名は十五日午後八時二十分頃本町七丁目三十二番戸小林萬六方にて飲酒し口論を初め街路に出て互に格鬪し隣家の和氣六郎方の器物數點を破損し損害金七圓に〔illegible〕て事濟み

●西部管內のボヤ

十五日午前十一時西部仁達坊社洞五十六の七李英弼方竈の烟筒より發火し藁屋根に燃え移りたるが附近の人々馳せ集りて消し止む

●正誤

昨紙貴紙明治四十五年一月十四日發行八百六十一號第三面記中十一萬圓詐欺事件岡山縣人井上保云々の記事は尤崔淳享より宅地及家屋は一萬圓にて買收したるは事實なるも實業會社は事實なる爲め買賣契約書が實業會社より典當契約したる物に下附せりと付於ては社員の早計出損者へ一々無根の事に付全文を御記載御取消相成度此段願上申候　京城古市町　一月十五日　井上保　京城新報社御中

●演藝だより

▲浪花館　圓若一座の落語音曲手踊り　▲歌舞伎座　改成義團の代狂言は〔illegible〕切狂言『忠臣藏五段目勘平鐵砲』　▲壽座　前『滿平布引の瀧』中『三勝半七酒屋』切『波の浦島の入船』

完備せる 和洋紙見本帳

和洋紙見本
TOSAKAMI
Branch Office
Namdaimondori
SEOUL, KOREA.

菊判總クロース表紙三百餘種美麗寫眞版數種挿入

和洋紙を御使用なさる方は
如何なる紙が適當であるか？
どの位の厚さのものがよいか？
其紙の判はどの位の大さのものであるか？
は第一に御承知ならなければならぬ然るに紙を御使用なさる方にして御不案内の爲め常に御不便をなされつゝあるのである
今回弊店は一般御使用者の爲めに現時我國にて重に使用しつゝある和洋紙を一冊の見本帳とし一見御望みの紙をして發見せらるゝの便に供せんとす
價は實費の半額一冊壹圓と送料（朝鮮内地十二錢）
部數に限りあり御望の方は至急御申込相成度候
朝鮮京城南大門通三丁目
土佐紙株式會社京城支店
電話長三一五番

食料品 直輸入 卸商
京城南大門通二丁目
泉州貝源支店
牧野豊七商店
電話五百九十九番（マキ）又八（マ）

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜類物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切
京城南大門外
荒井牧場（電話一〇五六番）
江華島
荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委託致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間御買求願上候

各種上等石炭
△日本産石炭名▽
金綠炭 谷
高島炭 江
唐津炭
△平壤産無煙炭名▽
卵形煉炭
平形無煙煉炭
無煙炭
粉炭
石炭直輸入商
西崎商店
京城西小門通四十七番
電話七二七番

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手）
廣安喜次郎
電話一四一一番

舶來アイボリー石鹼
IVORY SOAP
アイボリー石鹼
米國製
アイボリー
石鹼に僞物あり包紙に御注意を乞ふ

陸軍諸官衙御用達
野田最上醬油
キッコーマン印（ヤマサ）
總國野田町
（茂木本總家）
茂木七左衛門釀造
味噌醬油釀造元
特約店
大日本麥酒株式會社
醬油
宇治銘茶
和洋鑵詰
乾物荒物
薪炭
甘露醬油
の清酢
和洋酒類
穀物麵類
野菜果實
諸漬物問屋
其他日用品一切
御贈答用進物品並に商品券調製仕候御用命の程希上候
京城本町五丁目（電話二百五十一番）
大上友太郎商店

●大學目藥かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の目藥あり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所
大坂市北濱一丁目
元祖ヘブリン丸
參天堂藥房

大阪田口の
かぜねつの最良藥
ヘブリン丸
ハカリ印
Pilulae Antifebrin
參天堂藥房
各藥店にあり・定價十五錢・三十錢
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

神經をおちつめ腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す
腦病全治新藥
商標
健腦丸
記憶力惡き人頭痛する人
神經衰弱にて氣分鬱ぐ人
常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
（定價）一日中十錢、三日分卅錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、一月分壹圓三十錢
本舗大阪心齋橋二丁目丹平商會藥房
分店大阪平野町堺筋北丹平商會分店
支店東京日本橋箔屋町丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

●母國よりも安い●
携帶電燈 大一圓二十錢
中壹圓
小七十錢
懷中電燈 大九十錢
小七十錢
電燈
●地方には即時小包發送
各種眼鏡
貴金時計
電燈一式
各種品
●大々的の勉強●
販賣
京城本町一丁目郵便局前
金化堂時計舖
電話三一八番

京城明治町一丁目（森、村賀店隣）
榊齒術所
電話（六六九番）へ

英國セフヒールド市
シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處新鮮地に材料穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號『ク』振替貯金口座京城二五六番

紙と印刷
諸官衙御用
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
京城永樂町二丁目
播本商店
電話百拾番

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目木永吳服店隣
野田齒科醫院分院

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二
坂倉支店

最上醬油
髙
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

牛馬犬猫
治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長 小川鶴太郎
小川家畜醫院
電話四二七番

にせ物御注意
胃病アまりおん飲みすぎ食ひすぎに
ゐかいさん
猪飼胃散
定價 十五錢 廿五錢 五十錢 一円
本舗 大阪江戸堀
猪飼史郎
振替大阪七七八
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

健胃下腹丸
けんいかふくがん
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

唐澤白米
龍山精米所

入院隨意
京城櫻町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

キ
一月
瀛船出帆
三省丸 天草丸 成歡丸 海利丸 三省丸
濟州島行 一月十八日 仁川本町四丁目
木浦行 一月十七日 電話一七三八番
鎭南浦行 一月十九日
大湖行 月十七日
荷客取扱所
合資會社 秋田商會 船舶部
仁川本町一丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部荷捌所
仁川本町海岸通 電話四一九番
柴田回漕店
仁川本町四丁目
山本回漕店 電話五二二番